

議提第7号

保育所運営費にかかる「地域区分」の見直しに関する意見書

会議規則第14条の規定により、保育所運営費にかかる「地域区分」の見直しに関する意見書を次のとおり提出する。

平成26年12月15日 提出

提出者	北本市議会議員	岸	昭二
賛成者	北本市議会議員	湯澤	美恵子
賛成者	北本市議会議員	中村	洋子
賛成者	北本市議会議員	高橋	伸治
賛成者	北本市議会議員	工藤	日出夫
賛成者	北本市議会議員	大嶋	達巳
賛成者	北本市議会議員	滝瀬	光一
賛成者	北本市議会議員	渡邊	良太
賛成者	北本市議会議員	桂	祐司
賛成者	北本市議会議員	現王園	孝昭
賛成者	北本市議会議員	大澤	芳秋
賛成者	北本市議会議員	保角	美代
賛成者	北本市議会議員	福島	忠夫
賛成者	北本市議会議員	加藤	勝明
賛成者	北本市議会議員	金子	眞理子
賛成者	北本市議会議員	高橋	節子
賛成者	北本市議会議員	島野	和夫
賛成者	北本市議会議員	横山	功
賛成者	北本市議会議員	伊藤	堅治

北本市議会議長 黒澤健一様

保育所運営費にかかる「地域区分」の見直しに関する意見書

北本市では、平成26年11月現在、民間保育園6か所、公立保育所4か所があり、未来を担う子ども達のために、その保護者や地域支援のために日々保育をしている。北本市における民間保育所定員は、総定員の51%であり、今後も認定こども園の増設が見込まれ、保育行政において大きな役割を担っている。

民間保育所の運営は、大半が公費の委託料と補助金によってまかなわれており、委託料については、国により地域区分、定員規模、入所児童の年齢、保育士の平均経験年数に応じて保育単価が定められている。

この地域区分において、平成27年度北本市は最低単価である「その他地域」のままとされ、近隣の鴻巣市、桶川市、吉見町の「3/100地域」に囲まれることとなる。生活圏を同じくするこれらの近隣自治体と、民間賃金、物価、生活全般は同一水準にあり、保育単価の多寡は、特に保育士の雇用、児童の処遇、保育園の運営に大きく影響を及ぼしている。

急速な少子化、女性の社会進出、親の養育力や地域扶助力が低下している中で、子どもたちが健やかに成長できる地域社会を築いていくには、幼児期に質の高い保育が提供されることが不可欠である。そのため、民間保育所において安定した保育士の雇用確保、安定した運営ができるよう、保育所運営費にかかる「地域区分」について、地域の実情に合ったものに早急に見直しをされるよう、国に対し強く要請する。

記

1. 民間保育所において安定した保育士の雇用確保、安定した運営ができるよう、保育所運営費にかかる「地域区分」について、地域の実情に合ったものに見直しをすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

【提出先】 内閣総理大臣・衆議院議長・参議院議長・総務大臣・厚生労働大臣